



シキンカラマツ	<i>Thalictrum rochebrunianum</i> Franch. et Sav.	情報不足
		キンポウゲ科
選定理由	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧種に移行し得る要素を有しているが、生育状況等の情報が十分得られていない。	写真(岐阜県博物館) 標本 
形態の特徴	茎は直立し高さ70-150cmになる多年草。茎葉は数枚あり、3-4回3出複葉、小葉は1-3cm。花期は7-8月。円錐状の花序に紫紅色で径約7mmの花を多数つける。瘦果は20個ほど、狭倒卵形で、長さ約7mm。	
生態的特徴	木陰の湿った草地にはえる。	
分布状況	本州(長野県、群馬県、福島県)の温帯の山地の分布する。県内では県北の北東部(1985年)での標本が得られているが、その他の情報が不足している。	
減少要因	本種の分布域は情報不足のためはっきりしないが、もともと生育個体数も少ない。	
保全対策	生育地を公表する必要がある場合は、生育場所を特定することのないような配慮が必要である。また、生育地の保全に配慮が望まれる。	
特記事項		
参考文献	佐竹義輔ほか編「日本の野生植物 草本Ⅱ」平凡社(1982)	

文責:佐藤和良